

私は、六論会を代表しまして、認第1号令和4年度野田市一般会計歳入歳出決算認定から認第7号令和4年度野田市下水道事業会計決算認定までの各会計の決算認定について、全てに賛成の立場で討論させていただきます。

令和4年度の市の予算は、厳しい財政状況の中、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、全庁を挙げた、厳しい事業見直しと経常収支比率の改善、新たな財源確保、総合計画及び実施計画の推進、行政改革大綱及び行政改革大綱実施計画の推進を基本的な考え方として編成されており、子供から高齢者まで全ての世代の幅広い市民要望への対応が図られたものとなっています。

一般会計決算については、歳入決算額が613億381万9,368円、これに対する歳出決算額は594億652万5,036円となっており、予算に対する執行率は歳入が97.6%、歳出が94.6%であり、適正な執行がなされています。

まず、歳入については、根幹となる市税が予算現額に対して約5,700万円の増収となっており、コロナ禍の中で生活再建型の滞納整理を推進しながら、収納率も高く、経常一般財源の確保に努力されたことを評価いたします。

次に、歳出について申し上げます。

総務費では、市民の利便性向上のため、船形多世代交流センターを整備されたほか、同センター及び関宿コミュニティ会館において公衆無線LANの整備を実施され、幅広い世代の利便性や災害時など非常時の通信手段の確保が進んでおり評価いたします。

民生費では、強度行動障害者グループホーム整備に係る建設助成を実施されたほか、楽寿園個室化改修工事が実施されました。また、子ども医療費助成制度のさらなる拡充がされたほか、令和4年10月に児童センターが開館されるなど、様々な子育て支援施策の充実が図られています。この児童センターはネーミングライツも導入され、のだしこども館 supported by kikkomanとなりました。インクルーシブ遊具や温かみのある木材をふんだんに利用した施設となっており、好評でたくさんの利用者が詰めかけています。また、ネットを利用した予約も好評とのことで、DXも進められています。また重層的支援体制について、介護、障がい、子育て、生活困窮などで生じてくる、虐待やひきこもり、5080問題、ヤングケアラーといった諸問題に対応しながら今後の急速な少子高齢化の波を乗り切るためには、重層的支援体制の整備が急務であり、さらなる体制整備への御尽力をお願いします。

衛生費では、市民の健康増進に向けて、胃がん検診に胃部内視鏡検査が導入され、早期発見につながっております。この成果ももっとPRしていただき、伸び悩んでいる健康診査の受診率向上につなげていただきたいと思います。また、好評を得ている健康・スポーツポイント事業ですが、幅広い年代でたくさんの参加があるとのこと。今後はスマートフォンやスマートウォッチ等の万歩計等と連

動するなどの機能性や申請などの事務作業の簡素化につながる、野田市のアプリの導入も母子健康手帳のアプリと併せて進めていただきたいと思います。

農林水産業費では、引き続き農産物ブランド化の一環として、玄米黒酢農法に取り組んだほか、農業後継者対策事業に取り組まれました。ただ残念だったのは、せっかくおいしいお米をブランド化しようと努力されているのに、関宿落堀の非灌漑期の取水停止の環境に関する影響の検証では、BODだけでは計れない、水の色などの見た目の印象や臭気等の環境の悪化にも配慮した環境保全対策を是非検討していただきたいと思います。

商工費では、空き店舗活用支援事業の補助対象が拡充されたほか、3年ぶりとなる将棋女流名人戦及び宝珠花小僧将棋まつりが開催されました。今後は藤井七冠をはじめとする有名棋士を巻き込んだトーナメント戦の招致やイベント開催などを熱望いたします。

商品開発支援事業費に関しましては支援内容のさらなる充実に加えて、期間限定でも市役所で販売するといった新商品のPRを含めた野田市の物産のPRにも力を入れていただきますようお願いいたします。

土木費では、連続立体交差事業と関連事業である野田市駅西土地地区画整理事業、愛宕駅西口駅前広場等整備事業等の進捗が図られたほか、浸水対策として六丁四反調整池整備の進捗が図られ、野田市の未来への投資がなされています。今後はゲリラ豪雨時の道路等の冠水対策を含め、先を見通した渋滞対策など道路環境の整備を進めていただきますようお願いいたします。

自然環境保護関係では、引き続きコウノトリの放鳥が実施されました。

消防費では、災害対策本部となる市役所駐車場への無停電照明装置を設置されたほか、気象解説や防災に関する助言等を行う気象防災アドバイザー1名が配置されました。気象防災アドバイザーによる小中学校や市民に向けた講座も実施されて気象や防災意識の向上につながっていると思います。

教育費では、令和5年度までの継続事業である岩木小学校を含めて小学校5校のトイレ洋式化工事が実施されたほか、予定年度を繰り上げて木間ヶ瀬小学校ほか3校のトイレ改修設計を実施され、子供たちから要望の多い学校トイレ洋式化を加速させていることを評価いたします。また、小中学校体育館へのネットワーク環境整備、生涯学習センター及び全公民館への公衆無線LAN整備を実施されました。それから、現在、学校の施設老朽化と適正配置の問題が待ったなしの状況ですので、早急な対応をお願いします。また、清水公園のプールですが、市民より要望が多い流れるプールを再開してほしいという意見の検討もお願いします。また、室内温水プールとする場合の熱源を太陽熱など再生エネルギーなどで環境に配慮したシステムの検討を是非お願いします。

その他令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、市独自に、地域

公共交通運行継続支援金、新生児特別定額給付金、校外学習等実施支援補助金等の支給、感染症検査キット配布・陽性者登録センターの設置、指定ごみ袋の追加配布、水道基本料金の全額免除等を実施されました。また、物価高騰対策として、児童手当上乘せ給付金、障害福祉サービス等及び介護サービス事業所物価高騰対策支援金、肥料及び飼料価格高騰対策補助金、貨物自動車運送事業者物価高騰対策支援金、私立保育所等物価高騰対策支援補助金等の支給を実施したほか、小中学校及び幼稚園、保育所等の給食費に係る物価高騰分の公費負担など、市民生活の安定を図るために多くの事業が実施されたことを評価いたします。

以上のように、令和4年度歳入歳出決算は、厳しい財政事情にありながらも、子供たちへの投資や教育環境の充実、市民の安心安全の確保に資する事業が予定どおり実施されており、適正な予算執行であると認められ、高く評価いたします。

また、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、次木親野井特定土地区画整理事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計についても、それぞれの目的に沿った適切な予算執行であると認め、全ての決算認定について賛成といたします。